

行政報告の主な内容（6課19項目）

(1) 総務課	執行体制について
	国の栄典関係について
	東日本大震災に対する対応関係について
	予約型乗合タクシー運行事業について
	自衛隊関係について
(2) 保健福祉課	高齢者世帯等住宅用火災警報器設置事業について
	認知症高齢者徘徊搜索体制について
	小規模多機能事業所について
(3) 町民生活課	町税等の収納対策について
	交通死亡事故ゼロ500日達成について
	住宅リフォーム等助成及び省エネ型生活灯補助について
(4) 産業振興課	農作物の育成状況について
	戸別所得補償制度について
	かみふらのプレミアムビールについて
(5) 建設水道課	島津公園大型遊具供用開始について
	建設産業安全大会について
	住民会道路清掃活動について
(6) 教育振興課	上富良野高校の現況について
(7) 総務課	建設工事の発注状況について

行政報告

(平成23年6月定例町議会)

議員各位におかれましては、公私共に何かとご多用のところ、第2回定例町議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

さて、去る3月定例町議会会期中の3月11日、マグニチュード9.0という東北地方太平洋沖の巨大地震が発生し、岩手、宮城、福島3県を中心に、死者・行方不明者2万3千人を超える未曾有の大災害となりました。発生から3ヶ月を経過した今なお、多くの方が避難生活を強いられるという状況にあり、お亡くなりになられた方々のご冥福と、被災された多くの方々に心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興を願うところであります。

この度の東日本大震災への町の対応も含めて、この機会に、去る3月定例町議会以降における町政執行の概要について報告させていただきます。

(総務課行政報告【総務班関係】)

はじめに、本年度4月からの執行体制についてであります。職員数については昨年度中の定年退職者など11名の欠員に対して、医師1名、看護師1名、一般事務職2名を採用し、昨年度当初から7名減の187名による執行体制としたところであります。特に常勤医師の確保にあたっては、旭川医科大学第三内科のご高配により、鈴木泰之内科医師を派遣いただき、診療体制の維持がなされたところであります。

なお、改正職員定数条例が本年4月1日に施行され、併せて第4次職員数適正化計画がスタートしましたので、同計画に沿った職員数の適正管理に努めるとともに、継続課題としております組織機構の見直しにつきましては、来年度4月1日を目途に取

り組んでまいります。

次に、国の栄典関係についてであります。東日本大震災への対応のため延期されておりました危険業務従事者叙勲について、例年どおり4月29日付の発令として、6月14日に発表され、瑞宝双光章に防衛功勞として安藤勝治氏、吉居実氏が、瑞宝单光章に防衛功勞として堀田豊光氏が、消防功勞として米陀政則氏が受章されました。

改めて、受章されました皆様のこれまでのご功績に、心から敬意を表すものであります。

（総務課行政報告【防災担当関係】）

次に、東日本大震災への本町の対応についてであります。まず、義援金につきましては、3月15日より、社会福祉協議会と連携して、「役場」「かみん」「社教センター」の3か所に義援金箱を設置し、多くの町民の方々から6月17日現在で、合計675万2千243円のご協力をいただいております。都度、日本赤十字社及び中央共同募金会を通じ、被災県へ送金しております。また、3月定例町議会で追加補正いただいた315万円につきましても、各機関を通じ送金したところであります。

次に、支援物資につきましては、被災各県から要請のあった品目について、3月19日から6日間、「かみん」で受付を行い、こちらも多くの町民の方々のご協力により、1千600kgに及ぶ物資が集まり、3月29日にボランティアセンターの協力を頂き、陸上自衛隊上富良野駐屯地の2台の車両により被災地へお届けいたしました。

次に、被災者の受入れ対応については、避難者受入れ住宅として、旭町の教職員住宅10戸と町営住宅6戸の計16戸を準備し、現在、福島県より避難された5世帯9名の方々が教職員住宅に入居されております。

入居にあたっては、1年間の住宅料免除とあわせて、生活必需品の無償貸出の支援を行ったところであります。

また、この度の大震災にあたり、10万人規模の自衛隊員が被災地に災害派遣されており、上富良野駐屯地からも約1千名の隊員が派遣されました。隊員派遣中に残されたご家族の支援窓口を総務課内に設置するとともに、帰隊後に、過酷な任務の労を癒していただくことを目的として、白銀荘の入浴券1,000枚を駐屯地に贈らせていただきました。

さらに、富良野広域連合消防においても、3月と4月にそれぞれ5名の隊員の派遣が行われ、上富良野署からも3名の隊員が現地において、人命救助活動等に尽力されたところであります。

最後に、被災地への町職員の派遣についてであります。5月7日から一班3名体制で2週間ずつの交替で、第4班までの8週間、宮城県石巻市へ職員を派遣しており、同市において、仮設住宅の入居対応や下水道の被害調査など支援業務にあたっているところであります。

なお、今週末には私も被災地を訪問し、お見舞いとあわせて、活火山十勝岳を抱える町として、今回の被災状況と、災害対応などについて学ばせていただき、今後の防災対策の強化に役立ててまいりたいと考えています。

(総務課行政報告【企画財政班関係】)

次に予約型乗合タクシー運行事業についてであります。本年4月より、市街地区、島津地区、富原地区、東中地区を対象に試行運行を実施しているところであります。

6月17日現在の登録者数は358人となっており、5月末現在の延べ利用者数360人、延べ運行回数は245回で全体の稼働率は39.3%となっているところであります。

運行にあたっては、現在のところ特に問題はなく実施されているところですが、今後においては、平成24年4月からの本運行に向けて運行事業者及び関係機関等と課題等を整理し、円滑に実施されるよう事務を執り進めてまいります。

(総務課行政報告【基地調整関係】)

次に、自衛隊関係であります。4月28日に自衛隊協力会上富良野支部総会に、5月12日には、富良野地方自衛隊協力会定期総会と自衛隊退職者雇用協議会総会に、また5月16日には北海道駐屯地等連絡協議会総会に出席いたしました。

基地対策関係では、上富良野基地対策協議会による平成24年度防衛施設周辺整備事業要望として、5月19日の同協議会総会終了後に駐屯地、第2師団、北海道防衛局、北部方面総監部に、6月8日には防衛省及び国会議員へ要望を行ってまいりました。

また、5月26日には北海道基地協議会総会に出席いたしました。

地元駐屯地関係では、第2対舟艇対戦車中隊が新たに編成され、4月22日に隊旗授与式が行われました。直接支援小隊を合わせますと約100名の増員となったところがあります。

また、6月19日には、上富良野駐屯地創立56周年記念行事が行われ、多くの町民の皆様とともにお祝いしたところがあります。

(保健福祉課行政報告)

次に、高齢者世帯等住宅用火災警報器設置事業についてであります。持ち家の高齢者世帯279世帯と生活保護5世帯の合計284世帯に対し、地元取扱業者7社により、5月末をもって設置を完了いたしました。これにより、持ち家の高齢者世帯等の

ほぼ100%の住宅に火災警報器が設置されたところであります。

次に、これまで懸案となっておりました認知症高齢者の徘徊搜索体制についてであります。町、警察署及び消防等関係機関と地域住民が一体となって早期に発見・保護するための徘徊高齢者等搜索ネットワークを立上げることとし、現在、認知症を有する高齢者の家族の方へ事前登録の呼びかけを進めております。今後、関係機関との連絡調整会議を開催した上で、連携を密にして連絡体制や搜索体制の構築を進めてまいります。

次に、NPO法人とむての森の小規模多機能事業所「なないろニカラ」が東中公園内の旧公園管理人住宅跡に整備を進めておりました「ニカラハウス」についてです。ありますが、この度完成を迎え、6月20日には開所式が行われましたことから、関係者とともに出席してまいりました。

今後も、地域内において、障がい者福祉の充実が図られるよう期待をしております。

(町民生活課行政報告【税務班関係】)

次に、行政活動を支えるために極めて重要な財源確保についてであります。町税等の徴収状況は、例年どおり、管理職全員による滞納プロジェクトの臨戸訪問徴収や夜間納税相談窓口の開設などに加えて、滞納者に対する差押えを執行し、徴収の強化を図って参りました。

また、平成19年度からのコンビニ収納の開始と同時に施行しました行政サービス制限条例により、納期内納税の意識も高まってきております。

これらによりまして、5月末現在の現年度の収納率は、町税で0.1%、国保税で0.9%向上したところであり、滞納繰越税額は、町税で2千414万9千円、国保税で3千526万9千円となっており、前年対比では町税で124万4千円、国保税で316万8

千円の減少となりました。今後も収納率向上に向けて適切な対応に努めてまいります。

(町民生活課行政報告【生活環境班関係】)

次に、交通安全対策についてであります。道内の交通死亡事故発生件数は、5月末日現在、死者数45人と前年より21人減少しております。

本町におきましても4月29日に交通死亡事故ゼロ500日を達成し、現在も進行中であります。これも一重に町民一丸となり交通安全の取り組みを進めていただいている結果であり、関係機関のご協力に感謝申し上げます。

今後におきましても、交通死亡事故ゼロ1000日、1500日を目指し、啓発活動を推進してまいります。

次に、地球温暖化防止対策又はバリアフリー化に寄与する住宅リフォーム等助成事業についてであります。6月10日現在で、住宅リフォーム・住宅設備機器導入で12件、総工事費2,739万円に対して、助成額156万7千円になっております。

また、平成21年10月から制度化している既存住宅耐震改修助成についても、住宅リフォームとの併用が1件あり、30万円の補助を予定しております。

また、省エネ型生活灯につきましては、5月末日現在で、44町内会356灯1千629万5千円の申請希望及び相談が寄せられているところであります。

(産業振興課行政報告【農業振興班関係】)

次に、農業関係についてであります。昨年、一昨年と非常に厳しい作柄となったことから、本年こそ豊穰の秋が迎えられるよう、皆さんが大きな期待を寄せているところではあります。しかしながら、4月下旬からの低温や多雨による春作業の遅れが

顕著となり、豆類や馬鈴しょ、てん菜など、畑作物の播種時期が5日から2週間程度遅れ、特に春播き小麦については、一部で播き付けを断念し、他の作物に転換する方も見受けられました。水稻についても、5月下旬からの天候回復により移植後の活着は順調に進んでいるものの、生育状況は平年に届かず、ほぼ全ての作物において、生育遅の延が心配されます。

次に、本年度から本格実施となりました「戸別所得補償制度」についてであります。特に混乱もなく関係作業が進捗している状況にあります。この制度につきましては、昨年、水田のみの対象から、今年度は畑作も対象となり、従来の制度とは大幅な変更となりました。他の補完制度も含め、農業経営の安定化に活用いただくため、十分な制度説明や情報提供を図りながら、その対応に努めてまいります。

また、今年度から導入いたします、中山間地域等直接支払制度につきましても、先の震災の影響で、国や北海道との手続きについて、多少の遅れは生じておりますが、この制度が経営の安定や農村地域環境の向上につながるものと期待しており、農業者皆さんの工夫によって、有効・有益な活用が図れる様取り組んで参ります。

(産業振興課行政報告【商工観光班関係】)

次に、上富良野産原料100%「かみふらのプレミアムビール」に関する事業についてであります。昨年度設立された「かみふらのプレミアムビール【四季彩】実行委員会」により、本年においては、6月18日から協賛する町内の飲食店や事業所で「かみふらのプレミアムビール」の商品活用がなされております。昨年よりも事業の拡充が図られ、宿泊施設やレストランなど、観光関連の事業者の皆さんへも活用が広がり、昨年の5倍を超える量が、商品として活用されることとなっております。

また、7月16日には「町民ビャガーデン」の開催も予定されており、町民皆さん

の地場産物に対する理解の深化とあわせ、地元で活用できる商品として、また、町外からも評価される地域ブランドの一つとして発展することに大きく期待をしているところであり、目標達成に向け必要な支援をして参りたいと考えております。

(建設水道課行政報告)

次に、島津公園大型遊具の供用開始についてであります。雪解け後、芝生が安定し陽気の兆しが見え始めたことから、去る5月13日からオープンし、利用を開始したところです。

予定しておりましたオープン行事は、あいにくの天候により急きょ中止にしましたが、翌日からは多くの子ども達に利用いただいているところであります。

次に、建設産業安全大会についてであります。5月10日建設業協会と商工会工業部会の共催により、建設工事の繁忙期を迎えるにあたって従事者約200人が集い、交通事故や労働災害防止の決意宣言を全員で確認し、誓い合いました。

無事故、無災害での工事を祈るところであります。

次に、住民会による道路清掃活動についてであります。地域の自主的な活動として広がりを見せており、大変心強く感じているところであります。この他にも、地区高齢者団体やシーニック・バイウェイ協賛団体、スキー連盟、スポーツ少年団、駐屯地隊員有志などの団体においても、国道、道々を含めた多数の路線において清掃活動が実施されました。収集されたゴミは、町が処理した分で2,300 kgに及んだところあります。

(教育振興課行政報告)

次に、上富良野高校の状況についてであります。昨年4月には42名が入学し、関係者の一人として、大変喜んだところですが、本年については、残念ながら27名の入学にとどまりました。

存続については、引き続き大変厳しい状況にありますことから、5月11日に教育委員会とともに、北海道教育委員会教育長をはじめ所管部局を訪問し、上富良野高等学校の存続に向けての要請を行ってまいりました。

町としましては、今後、上富良野高校への入学者が増加し、地域に根ざした特色ある高校として存続できるよう町民の理解と協力をいただきながら引き続き関係機関とともに努力してまいりますので、ご支援とご協力をお願い申し上げます。

(総務課行政報告【企画財政班関係】)

最後に、建設工事の発注状況についてですが、本年度、入札執行した建設工事は、6月20日現在、件数で12件、事業費総額で5千391万7千5百円となっております。また、本年度、発注予定の建設工事は43件で、その情報については4月1日付で公表したところであります。

なお、お手元に配付いたしました「平成23年度建設工事発注状況」については、国の地域活性化交付金を財源として平成22年度末に入札執行した事案を含めて記載しておりますので、後ほど御高覧いただきたく存じます。